

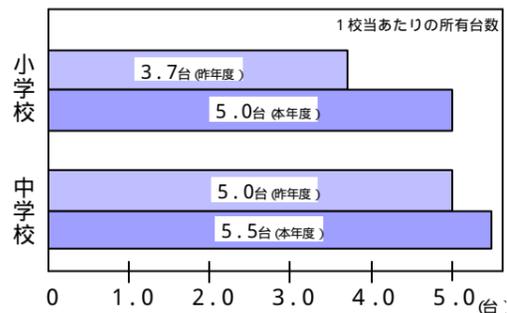
名情研だより

情報教育機器調査 集計結果

情報教育担当の先生方には、ご多用のところ「情報教育機器調査」にご協力いただき、ありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

今回は、昨年度と比較し、特に変化の大きかった小学校と中学校の結果を以下に掲載したいと思います。（名古屋市全体の校種別の1校あたりの数値を比べました。）なお、他の項目や特別支援学校の結果につきましては、1月下旬ごろに名情研のホームページにて紹介します。

D V D プ レ ー ヤ ー

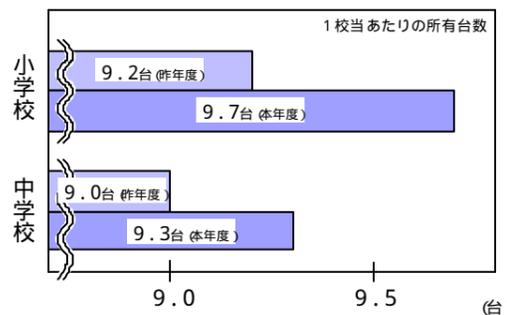


—昨年からVHSからDVDへ記録媒体のデジタル化が進んできました。教育用DVDソフトの充実が進み、教室での活用が進んでいます。

DVDプレーヤーはVHSと違い、チャプターごとに再生できるという利点は見逃せません。

今後も、この傾向は、急速に進んでいくと思われれます。

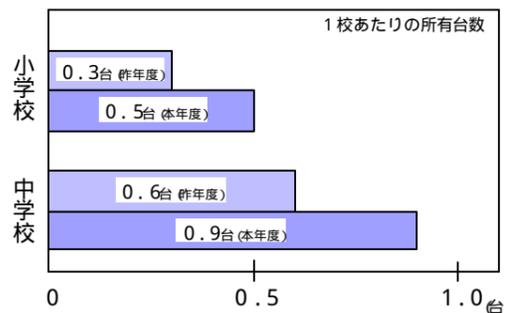
M D 付 ラ ジ カ セ



テープとCD、MDが一体となったデッキが、消耗品で購入できるようになったものが出てきました。各学級1台の割合で急速に普及しつつあります。また、CD・MD付ラジカセの普及でテープからMDへと記録媒体も変化しつつあると考えられます。

今後、各教室内へ導入されることが多いと予想されます。

外 付 け H D D



外付けHDDの整備が進んでいるようです。職員室内において、校務などで効果的に利用され、校務の情報化が進んでいるものと考えます。

また、近年、大容量の外付けHDDが価格面で求めやすくなり、このことが普及の要因の一つになっていると考えられます。

情報教育機器の紹介

書画カメラの種類には、プロジェクタとの一体型と従来の単体型とがあります。教材提示装置と違い、デジタルカメラで撮影したデータを取り込み、その映像をスクリーンに映すというものです。デジタルデータであるため、保存や補正がしやすいという利点があります。



<従来の単体型>



<プロジェクタとの一体型>

- 研修部より -

全体研修会 —メディアスキル研修部—

『授業実践をプレゼンテーションで効果的に伝えよう』 8月20日：守山中学校

まず、プレゼンテーションソフトの大まかな使い方の説明があり、参加者が各自の課題に応じて提示資料を作っていました。

教育研究集会や学校保健委員会での発表用提示資料を作成したり、2学期の授業の準備をしたりする充実した1日を過ごしていただけたと思います。



<全体研修会の様子>

実践研修会 —メディアスキル研修部—

『プロジェクタを活用してわかる授業を実現しよう』 10月28日：鶴舞小学校



<実践研修会の様子>

冒頭、委員長が五味太郎著「さる るるる」の本を使い、「る」の部分予想させる模擬授業を行い、プロジェクタで大きく映す授業の1例を紹介しました。

その後、書画カメラとプロジェクタを組み合わせることで、どのような効果があるかの説明後、小学校・中学校・特別支援学校の先生の各グループに分かれて研修しました。

各グループで授業のどんな場面で活用できるかを話し合いながら、教科書や身の回りのいろいろなものを映して思いついた活用方法を見付けました。

各研究部の活動の様子や情報教育に関する新しい情報は、名古屋市情報教育研究会のホームページでも発信しています。一度、ご覧いただければ幸いです。

アドレス: <http://www.meijoken.com>